

事業番号	事務事業名	田舎暮らし体験事業	所管課名	まちづくり課	令和 3 年度課長名	柳井 和彦
00324	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名		担当者・シート作成者	山下 直人
	施策名	45 定住化の促進	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 ) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	移住希望者への体験ツアー及び婚活イベントの企画、実施を委託し実施した。 ○具体的な内容 移住体験ツアー実施(1回) オーダーメイド型移住体験ツアー(12回) 婚活イベント実施(1回) 婚活セミナー(4回)	平成27年10月に、人口減少に歯止めをかける、あるいはこれらの諸課題に的確に対応するといった視点で、かがみの創生総合戦略が策定されたが、これをきっかけにこうした事業への取り組みを開始した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 移住・定住希望者	ア 移住・定住希望者(かがみミライ)	件	見込 実績	200 235	240 194	240 206	270	270
イ	イ 移住・定住相談件数(町内全体)	件	見込 実績	200 235	240 194	240 206	270	270
ウ	ウ 移住・定住相談件数(県内全体)	件	見込 実績	7,000 6,678	7,000 5,809	7,000	7,000	7,000

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 田舎暮らしを体験してもらう	ア 移住体験ツアー参加人数	人	目標 実績 達成率	40 17 42.5%	40 32 80.0%	40 13 32.5%	40	40
イ	イ 婚活イベント参加人数	人	目標 実績 達成率	60 111 185.0%	60 48 80.0%	60 12 20.0%	40	40
ウ	ウ 移住・定住ツアー参加者のうち移住された人数	人	目標 実績 達成率	4 9 225.0%	4 1 25.0%	4 2 50.0%	4	4

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 移住体験ツアーの開催	ア 移住体験ツアー開催回数	回	目標 実績 達成率	13 6 46.2%	13 13 100.0%	13 8 61.5%	13	13
イ 婚活イベントの開催	イ 婚活イベント開催回数	回	目標 実績 達成率	5 6 120.0%	5 5 100.0%	5 4 80.0%	5	5
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 02		項 01		目 06		大事業 中事業 18 08					事業番号
	一般会計		総務費		総務管理費		企画費		田舎暮らし体験事業					
予算(千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比	決算(千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比	
国庫支出金	576						国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財	416	445	396		430	-49	その他特財	201	111	69		430	-42	
一般財源	2,166	1,956	2,257	2,472	2,200	301	一般財源	2,093	1,573	1,115	2,472	2,200	-458	
合計	3,158	2,401	2,653	2,472	2,630	252	合計(A)	2,294	1,684	1,184	2,472	2,630	-500	
財源名称	移住体験ツアー・婚活イベント参加負担金						従事正職員人数	1	1	1	1	1		
							延べ業務事務時間	300	300	300	300	300		
							人件費計(千円)(B)	1,050	1,003	1,005	1,026	1,026	2	
	最終予算額		2,653 千円		予算執行率		44.6%	トータルコスト(A+B)	3,344	2,687	2,189	3,498	3,656	-498
主な支出事業内容(予算)	需用費				210 千円		主な支出事業内容(決算)	需用費				73 千円		
	役務費				30 千円			役務費				0 千円		
	委託料				2,226 千円			委託料				1,061 千円		
	使用料及び賃借料				67 千円			使用料及び賃借料				49 千円		

事業番号	00324	事務事業名	田舎暮らし体験事業	所管課名	まちづくり課
------	-------	-------	-----------	------	--------

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
国の地方創生推進の状況から、平成27年度後半から移住・定住施策への取り組みを強化し現在に至っている。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
移住ツアーや婚活イベント等、参加者ニーズの聞き取りを行い反映することで参加しやすい形態へ移行している。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
参加者のニーズに応じた内容への変化や、取り組み回数の増加を求められている。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <b>理由説明</b> 平成31年度鏡野町経営方針の重点施策として定住化が掲げられており、その中で定住希望者への支援の充実が掲げられているが、本事業はこうした内容に結びついたものである。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せられないか?)
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <b>理由説明</b> 鏡野町における地域活性化対策の一つとして、移住・定住施策は町が関与すべきものであり妥当である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)	
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適切である <b>理由説明</b> 事業の現状や成果から考えて、対象は見直し余地はないが、意図についての転入人口については、色々な要因での窓口における転入者数としているため、これについては見直しても良いと考える。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している <b>理由説明</b> 事業の実施方法について参加者のニーズも聞き取りながら、当初とは内容を変化させつつ成果の向上を図っているが、他の自治体においても同様の取り組みが多くなされており、今以上に参加者を増やしていくことは難しい状況である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <b>理由説明</b> 移住定住ツアーをきっかけに町内へ移住をされた方や婚活イベントにより結婚された方もいる中、廃止・休止をした場合はこうしたきっかけが無くなってしまう。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)	
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない <b>理由説明</b> 他団体の色々なノウハウを吸収することで、やり方の改善等更なる成果の向上を見込むことは可能であると思う。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <b>理由説明</b> 他団体が主体となって事業実施すれば、成果を下げずに事業費は削減できると思うが、当町においてそれを望むのはかなり難しいと思う。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <b>理由説明</b> 業務にかかわる職員は、他の業務と兼務で事業を実施していることから、これ以上の削減は出来ない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <b>理由説明</b> 移住・定住、少子化については、町全体で取り組む問題であり、長期的に見れば、受益者は町民全体と考える。また、参加者から参加料の徴収もしているため公平・公正である。

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果	② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	目的妥当性については適切と考える。一方、有効性については、参加者を今後どのように移住に繋げるか、また婚活イベントの参加者を移住・定住に繋げるかが課題であることから、ただ単にイベント等を開催し、それで終わることのないよう、常に内容の改善には取り組んで行く必要があると思う。 効率性、公平性については適切であると考える。																							
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 移住定住ツアーならびに婚活イベントについて、参加者のアンケート回答などをさらに分析し、更に良い内容となるように考えて行く必要がある。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							
特になし																								